

## 子どもたちも訓練に参加しました

### 園児の引き渡し訓練 新

保護者への引き渡しが完了していない事態を想定し、避難先施設での園児の引き渡し訓練を実施しました。



### 子ども向け防災講習会の実施 新

訓練に参加して実際に避難してきた子どもたちを対象に原子力防災の専門家による子ども向けの防災講習会を実施しました。



### その他

- 県要員が速やかに参集できない場合を想定した訓練
- トラック協会の協力を得た避難所への支援物資搬送などを実施しました。

## 訓練を振り返って

### 住民からの主な意見

- 訓練参加により避難先や避難方法等を具体的に知ることができた。
- 親子で訓練に参加したことで、家庭内での原子力防災に関する理解がより深まった。

### 関係機関からの主な意見

- 原子力災害時住民避難支援・円滑化システム使用時における通信環境の改善や、オフサイトセンター内での情報機器の更新が必要

### 外部評価委員からの主な意見

- キッチンカーによる炊き出しの実施や水循環型手洗い器、トイレカーの設置など避難所における良好な生活環境の確保を図る取組を参加者が体感できた。
- 県要員が速やかに参集できない場合を想定して、要員が段階的に参集したが、初動体制の確立や初期の情報収集は概ねできていた。

今後、訓練に対する外部評価や県専門委員会の意見等を踏まえるなどして、今回の訓練についての課題等を整理し、来年度以降の計画の見直しや訓練に生かしてまいります。

## 原子力規制委員会委員と地元関係者との意見交換

原子力規制委員会の山中委員長と神田委員が薩摩川内市を訪れ、川内原子力発電所を視察するとともに、地元関係者と川内原子力発電所に関する規制上の諸問題について意見交換を行いました。

日時及び場所	令和8年2月14日(土)	8:45 ~ 11:30 川内原子力発電所の視察
		13:30 ~ 15:39 地元関係者との意見交換 場所：鹿児島県原子力防災センター(オフサイトセンター)

意見交換の参加者	原子力規制委員会	山中委員長, 神田委員
	県	知事, 県議会議長
	UPZ内市町	薩摩川内市, いちち串木野市, 阿久根市, 鹿児島市, 出水市, 日置市, 始良市, さつま町, 長島町の首長・議会議長等
	九州電力	代表取締役社長ほか

### 川内原子力発電所の視察

特定重大事故等対処施設, 緊急時対策棟, 使用済燃料乾式貯蔵施設建設予定地を視察

#### <視察後の山中委員長のコメント>

- 平成30年に視察した際、建設中であった特定重大事故等対処施設及び緊急時対策棟について、今回完成した施設を実際に見て、安全性向上に繋がる施設になったという印象を持った。
- 乾式貯蔵施設の建設予定地は、広くて周りに他の施設もなく、立地上の課題は見受けられない。



※原子力規制委員会提供

### 地元関係者との意見交換

(● 地元関係者 ● 山中委員長)

地元関係者から、乾式貯蔵施設の設置や六ヶ所再処理工場の状況、屋内退避の運用などについて質問・要望がありました。主な内容は以下のとおりです。

#### <乾式貯蔵施設の設置>

- 乾式貯蔵施設の原子炉設置変更許可申請について厳格な審査を行った上で、その審査結果について県民への分かりやすい情報発信をお願いしたい。また、現時点で審査における懸念事項があるのか。
- 乾式貯蔵施設については、安全性はこれまで十分に確認されており、リスクも非常に小さい施設である。他の原子力発電所に関して審査実績があり、施設の安全上の課題についても特段大きな懸念を我々は持っていない。地元自治体から希望があれば、審査結果について説明したい。

#### <六ヶ所再処理工場の状況>

- 川内原子力発電所の使用済燃料について、九州電力は日本原燃の六ヶ所再処理工場に搬出することを基本方針としている。同工場はこれまで竣工時期が延期されているが、規制委員会における現在の審査状況と今後の審査の見通しについて伺いたい。
- 六ヶ所再処理工場は工事計画の審査の最終段階にある。終了時期は正確にお答えできないが、工事計画の審査が終われば保安規定の審査、その他検査等を実施する流れとなる。



※原子力規制委員会提供